

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.42
平成28年7月20日

“公共の場所の使い方” について考えよう

7月15日（金）に3年松組で、道徳の研究授業を行いました。3年生の児童は、集団生活において様々なきまりがあることを理解し、それを守ろうとする心が育ってきました。しかしまだまだ、「みんなのことを考えて、進んで行動する」という点においては十分とは言えません。そこで今回の授業では『水飲み場』という教材を通して、公共の場所の使い方について考えました。

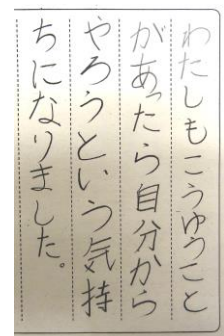
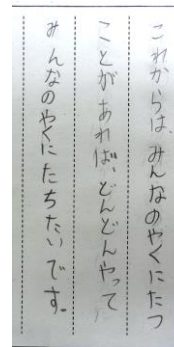
3年生の教室の前には水飲み場があります。誰かが流し台に枯れた花を捨ててしまったため、水飲み場はつまり、しっかりしめられていなかった蛇口からは水が流れ、ひどい有様になっています。休み時間に水を飲もうと立ち寄ったよしおさんはその汚さから1度は水を飲むことをあきらめようとしています。そこにあとからやってきたひろ子さんは事情を聞くと、自らの手を汚い水の中に入れて枯れた花を取り除き水飲み場をきれいにするというお話です。

そこで今回は「ひろこさんはどんな気持ちから水飲み場をきれいにしようとしたのか」をみんなで考えました。

「よしおさんやみんなのためにきれいにしよう」「人任せじゃなく自分がやろう」など、の意見が出るとはっとした表情を見せたり、「なるほど」と目を丸くしてうなずいたりする児童もいました。

みんなのいけん

- ★ こんなきたない水飲み場じゃ使えない
- ★ このままじゃ、水があふれてしまう
- ★ みんなが使うし私がきれいにしなきゃ
- ★ みんなのためになるならがんばろう
- ★ 誰もやらないかもしれないから私がやろう



【お話を聞きます】



【気持ちを考えます】



【考えを発表します】